

第35回 日本腹部放射線学会開催のご挨拶



第35回日本腹部放射線学会
会長 山上 卓士
高知大学医学部 放射線診断・IVR学講座

第35回日本腹部放射線学会を2022年6月24日（金）と25日（土）の両日、高知市の高知県立県民文化ホールにて開催させていただきます。

第35回日本腹部放射線学会ですが、新型コロナウイルス感染症が未だ終息しておりませんので、2022年6月24日（金）と25日（土）の両日、高知県立県民文化ホールにてハイブリッド形式で開催させていただきます。

日本腹部放射線学会は腹部領域の画像と病理所見を対比するという画像診断の原点を基本方針としており、本会もその趣旨に沿って一般演題、セミナー、基調講演等を予定しております。なお大会長公募症例は、GU領域の応募が非常に少なかったためやむなくGI領域のみとさせていただきますことをご詫言申し上げます。

会場は高知市の中心に位置しており、高知城、山内神社、ひろめ市場などの観光スポットが徒歩圏内に数多くございます。会場にお越し頂いた先生方には学会で熱く議論していただいたあとには、ゆっくり高知の街を探索し、心身をリフレッシュしていただければ幸いです。

本学会の四国での開催は初めてと伺っております。腹部放射線学会in Shikokuに、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人日本腹部放射線学会 役員名簿

《代表理事》 陣崎 雅弘 (慶應大)

《副代表理事》 楢 靖 (獨協医大) 吉満 研吾 (福岡大)

《理事》: 9名

赤羽 正章 (国際医療福祉大) 伊東 克能 (山口大) 蒲田 敏文 (金沢大) 新本 弘 (防衛医大)
高瀬 圭 (東北大) 竹原 康雄 (名古屋大) 藤井 進也 (鳥取大) 南 学 (筑波大)
村上 卓道 (神戸大)

《監事》: 2名

小山 貴 (倉敷中央) 藤永 康成 (信州大)

《評議員》: 81名

【北海道・東北地区】6名

加藤 健一 (岩手医大) 児玉 芳尚 (手稲溪仁会) 篠原 敦 (大館市立総合) 渋谷 剛一 (青森県立中央)
津田 雅視 (仙台市立病院) 橋本 学 (秋田大)

【関東・甲信越地区】27名

秋田 大宇 (慶應大) 市川 智章 (埼玉医大国際医療) 衣袋 健司 (日本大板橋) 扇 和之 (日本赤十字)
扇谷 芳光 (昭和医大) 岡田 真広 (日本大学) 岡田 吉隆 (埼玉医大国際医) 加村 毅 (信楽園病院)
北井 里実 (東京慈恵会医大) 桑鶴 良平 (順天堂大) 五味 達哉 (東邦大板橋) 近藤 浩史 (帝京大)
齋藤 和博 (東京医科大) 佐野 勝廣 (順天堂大) 曾我 茂義 (慶應大) 竹下 浩二 (東京山手メディカル)
田中優美子 (がん研有明) 那須 克宏 (千葉大) 原留 弘樹 (北里大) 古川 顕 (東京都立大)
松枝 清 (がん研有明) 松尾 義朋 (イーサイトヘルスケア) 本杉宇太郎 (甲府共立病院) 松木 充 (自治医大とちぎ子ども医セ)
森 健作 (筑波大) 吉村 宣彦 (新潟大) 渡谷 岳行 (東京大)

【中部・北陸地区】10名

阿保 斉 (富山県立中央) 伊藤 茂樹 (名古屋第一赤十字) 石垣 聡子 (名古屋大) 尾崎 公美 (福井大)
五島 聡 (浜松医大) 小林 聡 (金沢大) 鈴木耕次郎 (愛知医大) 竹内 充 (ラジオロネット東海)
南 哲弥 (金沢医大) 山本 亨 (福井県立)

【近畿地区】22名

磯田 裕義 (京都市大) 今岡いずみ (神戸低侵襲がん医療) 大田 信一 (滋賀医大) 大西 裕満 (大阪大)
狩谷 秀治 (関西医大) 河上 聡 (京都ProMed) 北島 一宏 (兵庫医大) 木戸 晶 (京都市大)
金 東石 (河内総合病院) 杉本 幸司 (神戸大) 祖父江慶太郎 (神戸大) 高橋 哲 (高槻病院)
谷川 昇 (関西医大) 坪山 尚寛 (大阪大) 鶴崎 正勝 (近畿大) 中井 豪 (大阪医大)
廣橋 伸治 (大阪明眼科) 堀 雅敏 (神戸大) 丸上 永晃 (奈良医大) 山崎 道夫 (公立甲賀)
山本 和宏 (大阪医科薬科大) 渡邊 祐司 (京都医療科学大)

【中国・四国地区】8名

粟井 和夫 (広島大) 佐野村隆行 (香川大) 竹内麻由美 (徳島大) 玉田 勉 (川崎医大)
津田 孝治 (愛媛大) 松崎 健司 (徳島文理大) 山上 卓士 (高知大) 吉廻 毅 (島根大)

【九州・沖縄地区】8名

青木 隆敏 (産業医大) 石神 康生 (九州大) 入江 裕之 (佐賀大) 内田 政史 (久留米大)
浪本 智弘 (玉名中央病院) 林 秀行 (諫早総合) 福倉 良彦 (鹿児島大) 松本 俊郎 (アルメイダ病院)

《名誉会員》: 16名

荒木 力 (健康科学大) 今井 裕 (東海大) 大友 邦 (国際医療福祉大) 角谷 眞澄 (丸の内病院)
黒田 知純 (大阪がん予セ) 後閑 武彦 (昭和大) 杉村 和朗 (神戸大) 富樫かおり (京都市大)
中尾 宣夫 (兵庫医大) 中村 仁信 (彩都友誼会) 鳴海 善文 (京都橋大) 平松 慶博 (立川北口健診館)
松井 修 (北陸画像診断支援セ) 宗近 宏次 (総合南東北病院) 森 宣 (長門記念病院) 山下 康行 (公立玉名中央)

《功労会員》: 7名

木戸長一郎 (木戸病院) 隈崎 達夫 (さわやか済生) 齋田 幸久 (東京医科歯科大学) 竹川 鉦一 (総合南東北病院)
田村 正三 (川南病院) 山田 龍作 (大阪河崎リハ) 吉田 哲雄 (県立足柄上)

(118名敬称略・五十音順)

【一般社団法人日本腹部放射線学会事務局】

代表理事: 陣崎 雅弘

事務局: 玉木 直美

慶應義塾大学医学部放射線科学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地

E-mail: jsar@rad.med.keio.ac.jp

TEL: 03-5363-3837

一般社団法人設立と正会員としての年会費制について

本会は1990年から「任意団体」として活動して参りましたが、会員数も平成22年には900名を越え、国内外の腹部放射線医学・画像診断学領域において重要な役割を果たしております。

放射線医学の更なる発展の基盤となるよう、平成23年2月7日（月）に名実ともに「一般社団法人 日本腹部放射線研究会」として設立登記し、平成25年6月21日（金）に「一般社団法人 日本腹部放射線学会」となりました。

尚、「一般社団法人」は主に「会費収入」で成り立つ事が条件と定める公正取引委員会での取決めにに基づき、平成23年度より正会員としての「年会費制（8,000円）」を導入し、お支払い手続きのご負担軽減の為、全てクレジットカード決済としております。

【正会員の継続について】

正会員としての継続の意思を事前確認させて頂き、2021年度年会費（8,000円）を本年5月1日付で自動決済させて頂きます。

【新規に正会員としてご登録頂く場合】

本学会の法人化前（平成23年2月7日以前）に会員登録済みの場合は、学会ホームページの会員登録頁より「確認・修正」をご選択頂き、登録内容を確認・修正してください。この際には年会費のクレジットカード決済のご入力を御願いたします。

- ・年会費納入期間：日本腹部放射線学会法人年度内（5月1日～翌年4月末日）
但し、学会開催前の5月1日～31日の間に、当年度の「年会費（8,000円）」を納入して頂いた場合は、同年6月に開催されます学術集会の参加費（15,000円）を、年会費納入の特典として減額いたします（正会員：5,000円、但し、初期研修医は免除）。
上記期間内に「年会費」を納入されない場合は、学術集会『参加費（15,000円）』は当日、会場にてお支払いください。

[年会費納入の特典]

- 1) 学会および学会関連学会の情報提供
- 2) 学会ホームページ上の「デジタルアトラス」の閲覧資格取得
- 3) 日本腹部放射線学会バイエル奨励賞の応募資格取得
- 4) 当年度の学会当日参加費の優遇
(学会開催前の5月1日～31日の間に年会費を納入して頂いた場合に限られます)

正会員	5,000円（但し、初期研修医は免除）
非会員	15,000円（但し、初期・後期研修医は5,000円）

「正会員」となることにより、多くの先生方が日常診療や研究活動及び教育の場において幅広くその特典を活用されることを祈願いたします。

一般社団法人日本腹部放射線学会
代表 陣崎 雅弘

ご案内

1. 参加受付

- 1) ハイブリッド開催により、参加登録はすべて、第35回日本腹部放射線学会HPから参加登録システムより各自、ご登録ください。

参加登録期間：2022年5月18日（水）正午～7月25日（月）正午

参加登録サイト：<http://www.jsar.jp/35th/participate.html>

※現地、会場での現金による参加登録は行いません。

当日もPCより参加登録システム（クレジット決済）より、参加登録いただくこととなりますので事前に参加登録をお済ませの上、お越しいただくことをお勧めいたします。

- 2) 参加費は下記の通りです。

現地会場にご参加の場合は参加登録時に配信されます「登録完了メール」をプリントアウトし受付にてご提示ください。名札をお渡しさせていただきます。

正会員	5,000円（但し、初期研修医は免除）
非会員	15,000円（但し、初期・後期研修医は5,000円）

※領収書・参加証明書について

「視聴サイト」（学会HPトップ画面もしくは、参加登録完了メールにてお知らせしております）の「HOME」画面の「各種ダウンロード」ボタンよりダウンロードできます。

ダウンロードは1回のみ可能となり、再発行はできかねますので、大切に保管ください。

2. 当日受付

日 時：2022年6月24日（金） 8：00～

6月25日（土） 7：30～

場 所：高知県立県民文化ホール 1F グリーンホール前 ホワイエ

※当日も現地にて受付はございますが、現金での対面受付は行わず、すべて、WEBからの参加登録受付となります。当日受付は混み合う可能性もありますので、極力、事前参加登録をお願いいたします。

※当日受付にて事前参加登録時に配信されます「参加登録受付完了メール」をプリントアウトしご提示ください。引き換えに「名札」をお渡しいたします。

3. 一般演題

【一般口演】

・口演会場は1F グリーンホールです。

1) 座 長

・ご担当頂くセッションの終了時間を厳守してください。一般口演の発表時間はすべて9分（発表5分、討論4分）（病理コメントを含む）、大会長公募症例の発表時間は原則として4分（症例数により調整）、最後に座長によるまとめを御願ひしています。

2) 発表者

◆「ブレデジタルアトラス」について

発表者全員に学会ホームページ上で発表内容を「ブレデジタルアトラス」形式で事前入力していただき、非公開で「打田賞」事前審査に活用させていただきます。また、学会当日、充実した討論をして頂く為に、病理コメントーターの先生方による症例内容の事前確認をブレデジタルアトラスにて行いますので、入稿の際には詳細な病理像を掲載できるよう予めデータのご準備をお願いいたします。

◆PC受付

- ・PC受付（1F ホワイエ）にて、発表の30分前までに試写をお済ませください（十分時間に余裕を持ってPC受付を行っていただきますようご協力をお願いいたします）。
- ・PC受付での発表データの修正作業はご遠慮ください。
- ・PC本体をお持ち込みの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。

◆発表に関する注意事項

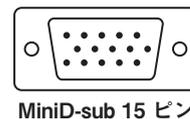
- ・口演会場にはワイドサイズのスクリーン（16：9）をご準備しております。
標準サイズ（4：3）のデータもご利用いただけますが、ワイドサイズ（16：9）での作成を推奨します。

<データをお持ち込みの方>

- ・発表はWindowsのPowerPointとなります。発表データはCD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください（CD-RW、DVD-RWは不可）。
- ・ご発表用アプリケーションは以下のバージョンをご用意いたします。
Windows PowerPoint：2010～2016
※Macintoshで発表データを作成される方は、ご自身のPCをご持参ください。
- ・フォントはOS標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお勧めいたします。
推奨フォント/日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
推奨フォント/英語の場合 Century、Century Gothic、Arial、Arial Black、Times New Roman
上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つため、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。ファイル形式は、Windows Media Player12（標準コーデック）で動作するファイル形式をご用意ください（推奨：mp4、WMV）。
※AVIはCODECによって再生できない場合があります。
動画をご使用の場合は、ご自身のPCをご持参いただくことをお勧めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・お預かりした発表データは、学会終了後、事務局にて消去いたします。

<PC本体をご持参される方>

- ・PC本体をお持ち込みの方は、PC受付でのデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。
- ・PCをお持ち込みの場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。再起動することがありますので起動の際のパスワード設定は必ず解除してください。
- ・出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。
※HDMIやMini DisplayPortなどのD-sub 15ピン以外の接続はお受けできません。
- ・画面サイズ（解像度）はXGA（1024×768）となります。
- ・この環境で画面のすべてが不具合なく表示されることを、予めご確認ください。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェック、並びに省電力設定（Macintoshの場合はホットコーナースト）は、あらかじめ解除をお願いいたします。



◆病理標本

- ・口演は病理学の先生にコメンテーターをお願いしております。病理コメンテーターの先生方よりご要望のあった演題については、事前にプレパレートをご送付いただくか、当日ご持参いただきます。ご郵送をお願いする場合は改めてご連絡させていただきます。なお、お預かりしたプレパレートは、口演後に病理室（B1F 楽屋10）にて返却いたしますのでお忘れのないようご注意ください。

【ポスター展示】

ポスター演題はオンデマンド配信となります。

オンデマンド配信期間：6月23日（木）正午～7月25日（月）正午

参加登録された際に発行されます閲覧用IDとパスワードを入力の上、閲覧ください。

質問がある方は「ポスター演題質問受付メール」に質問をメールにてお送りください。後日、演者からの回答をメールにてお送りします。

なお、質問内容と回答は後日、ホームページに公開されます。

4. 社員総会（世話人会）

日 時：6月24日（金）13：30～14：00（30分）

場 所：1F グリーンホール

5. クイズ企画

クイズ企画はオンデマンド配信となります。

オンデマンド配信期間：6月23日（木）正午～7月25日（月）正午

クイズ企画の問題が6月23日（木）正午～6月24日（金）17：00まで公開されており、ホームページ上の「クイズ企画応募フォーム」より皆様、奮って解答ください。

なお、回答は6月24日（金）18：00以降に公開されます。

「クイズ企画応募フォーム」より解答を応募された中からクイズ症例優秀者表彰を6月25日（土）12：30～口演会場（グリーンホール）にて行います。上位の方には、大会長より心ばかりの賞品をご用意しております。

皆様、是非ご参加ください。

6. 打田賞受賞講演・表彰

日 時：6月25日（土）13：20～13：50

7. 基調講演

【基調講演】（日本専門医機構認定放射線科領域講習会）

バイエル薬品株式会社

日 時：6月24日（金）11：00～12：20

座 長：山上 卓士（高知大学医学部 放射線診断・IVR学講座）

演 者：降幡 睦夫（高知大学医学部 病理学講座）

『尿路癌（膀胱癌）と前立腺癌；病理医の立場から』

井上 啓史（高知大学医学部 泌尿器科学講座・光線医療センター）

『癌医療の新たな道を照らす ― 光で診て、光で治す―』

8. 共催セミナー

【ランチョンセミナー1】 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

日 時：6月24日（金）12：30～13：20

『Canon CT・MRIによる躯幹部へのアプローチ ～質的診断から治療まで～』

座 長：近藤 浩史（帝京大学医学部 放射線科学講座）

演 者：穴井 洋（市立奈良病院 放射線科/IVR研究センター）

『Aquilion ONE / PRISM Editionによる躯幹部画像診断・IVRへの可能性』

田辺 昌寛（山口大学大学院医学系研究科 放射線医学講座）

『上腹部MRIの新たな可能性』

【ランチョンセミナー2】 富士製薬工業株式会社

日 時：6月25日（土）12：20～13：10

座 長：吉満 研吾（福岡大学医学部 放射線医学教室）

演 者：岡田 真広（日本大学医学部 放射線医学系 放射線医学分野）

『肝手術数日本一の日本大学で施行された肝切除症例から学ぶ肝癌と肝実質の画像診断』

【ティータイムセミナー1】 ゲルベ・ジャパン株式会社

日 時：6月24日（金）15：10～16：00

『腹部領域の画像診断 今おさえておくべきポイント』

座 長：栗井 和夫（広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学研究室）

演 者：中村 優子（広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学研究室）

『肝画像診断 おさえておくべきポイント』

田中優美子（がん研有明病院 画像診断部）

『子宮内膜症と腺筋症 最近の話題』

【ティータイムセミナー2】 株式会社フィリップス・ジャパン

日 時：6月25日（土）14：25～15：15

『Philips MR/CTが実現する腹部画像診断アップデート』

座 長：竹原 康雄（名古屋大学大学院医学系研究科新規低侵襲画像診断法基盤開発研究寄附講座）

演 者：野田 佳史（岐阜大学医学部附属病院）

『上腹部Motion Free MRIへの挑戦』

永山 泰教（熊本大学病院）

『腹部CTで役立つRetrospective Spectral Imaging』

【イブニングセミナー】 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日 時：6月24日（金）18：00～18：50

『CT・MRIの最新技術は本当に臨床に落とし込めるのか？～実臨床経験豊富な先生方に聞く～』

座 長：新本 弘（防衛医科大学校 放射線医学講座）

演 者：山田 哲（信州大学医学部 画像医学教室）

『Dual Energy CT: 臨床応用の可能性と課題, 将来展望』

奥田 茂男（慶應義塾大学医学部 放射線科学教室（診断））

『ディープラーニング画像再構成技術AIR™ Recon DLの使用経験から』

【モーニングセミナー】 シーメンスヘルスケア株式会社

日 時：6月25日（土）8：40～9：30

座 長：松本 知博（高知大学 医学部医学科 放射線医学講座）

演 者：吉田 守克（吉田クリニック）

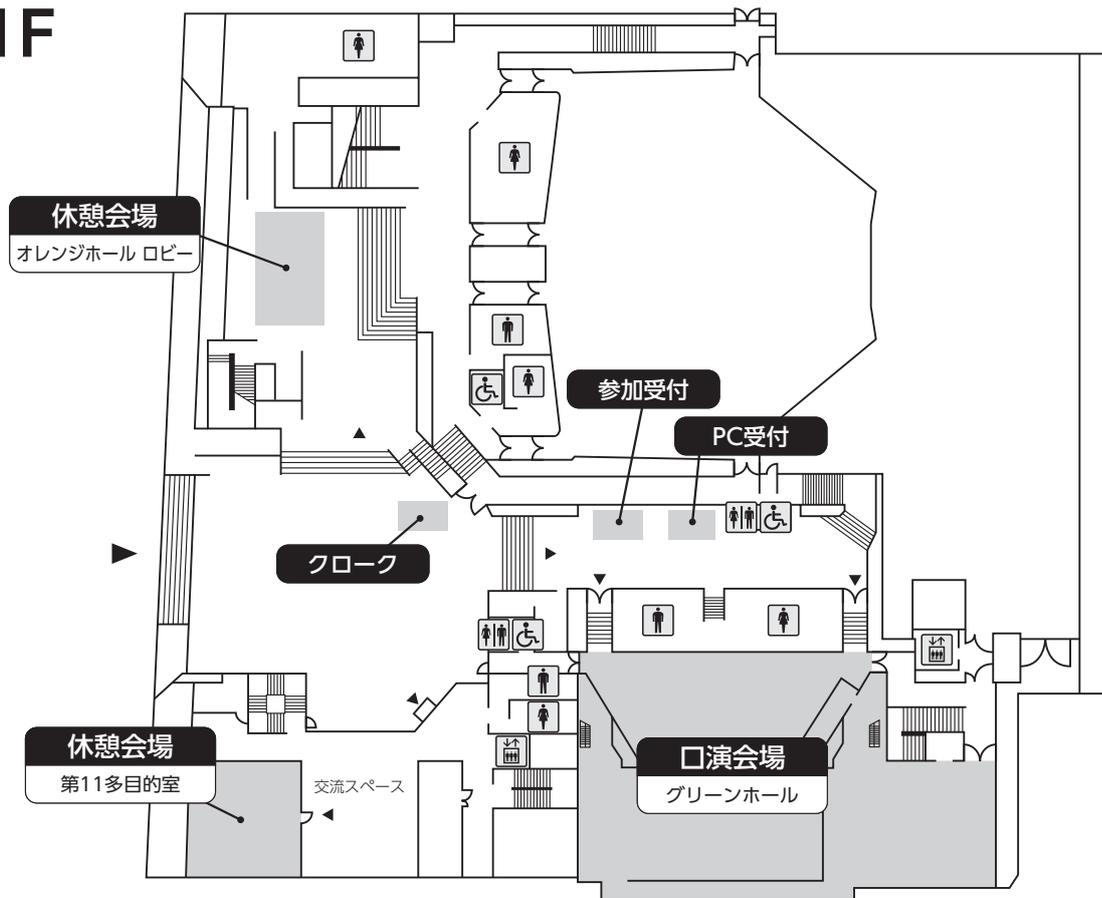
『最新型single source CTが日常臨床に与える影響』

梅岡 成章（日本赤十字社 和歌山医療センター 放射線診断科）

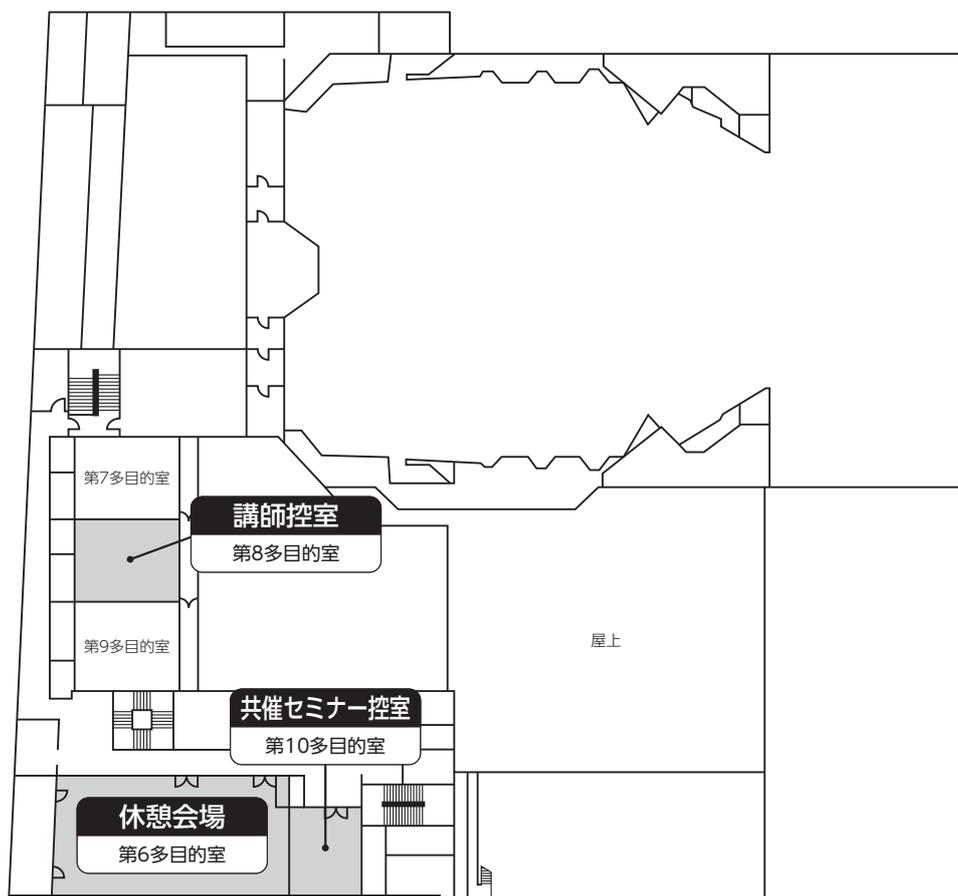
『腹部骨盤領域における新技術の使用経験：臨床医の独り言』

会場フロア図

1F



4F



B1F

